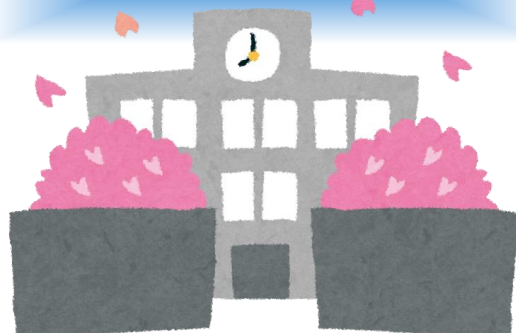


奈半利中学校から赴任して参りました小松英也と申します。3月31日(日)に吉良川の町並みを散策し、御田八幡宮に参拝してきました。4月7日(日)には西の川上流を歩いてきました。吉良川は伝統的な文化と豊かな自然が素晴らしい素敵な地域だと感じました。

校長室だよりは、私が感動したことや、集会等で生徒の皆さんに話した内容や、学校教育目標や学校評価など学校運営の方向性に関わる事柄などを掲載します。題の「吉兆」「龍雲」は両方とも「よい兆し」「見通しが明るいこと」という意味です。

入学式



4月8日(月)9名の新入学生を迎える入学式を行うことができました。驚いたことは、新入学生代表の小松茉莉愛さんのあいさつがとても立派だったこと、また生徒代表の小松大河くんの新入学生への語りかけが素晴らしかったことです。ふたりとも言葉を暗記して、堂々と話すことができ、吉良川の子供たちの高いポテンシャルを感じました。また、式場の準備のときも生徒がきびきびと動いていて、真面目さや先生方との信頼関係が伝わってきました。これまでよい学校文化をつくろうと生徒さん、教職員、保護者の皆さん、地域の皆さんが積み重ねてきた思いや取り組みを後退させることなく、新たな魅力や価値を加えていきたいと考えています。

式辞では、3番目の小松が、3つの大切なこと「自分を認める」「チャレンジ」「共感」についてお話させていただきました。裏面に原稿を掲載します。



令和6年度 学校教育目標

自他を尊重する 自律した学習者として、 未来をたくましく生きる 生徒の育成

子どもたちが幸せになるために、学校でやらなければならないことを、この学校教育目標に込めました。幸せにつながる道は一つではないですが、変化の激しいこれからの社会で、どんな道に進むとしても幸せになるために必要なことだと考えています。

自他の尊重

まず自分を認め、大切にし、元気づけること。そして人と豊かに、上手に関わること。



自律した学習者

教えてもらうだけでなく、学びを楽しむ、自分から情報を取りに行き、学びを計画し、軽やかに実行すること。

未来をたくましく生きる

これからの変化の激しい時代に、置いていかれないよう、常にチャレンジし成長すること。

吉良川の町が雨で潤され、桜の花をはじめ全ての命が輝きを増す春本番となりました

このしつとりと心地のよい春の日、新入学生の皆さんを吉良川中学校に迎えられることを幸せに思います

ただ今 名前を読み上げました 九名の新入生の皆さん ご入学おめでとうございます として 保護者の皆様 お子様のご入学 まことに おめでとうございます 私たち教職員 在校生一同 新入学生の皆さんの 入学を心より 歓迎いたします

さて 九名の新入学生の皆さんは 今日から始まる新たな中学校生活に 希望と不安が入り混じり 複雑な気持ちでいることと思います

誕生の日から月日を重ね、今、中学生になった自分のこれまでの成長を思い返してみてください 支えてくれるご家庭や周りの方々の、愛情や支援があつてこそ 皆さんはここまで成長できました

今日の感謝や喜びを大切に、日々中学校生活を積み重ね、三年後には、更に大きな成長の実感とともに 幸せに満ちあふれて この吉良川中学校を卒業されることを 願っています

一年ほど前、新型コロナウイルス感染症は5類に移行し、制限の多かった学校生活も元に戻ってきました

けれども元に戻らないものもあります

それは、AIなど新しい技術の進化による社会の変化です この変化は私たち大人も体験したことのない急激なものです 変化の続くこれからの未来をたくましく生きていくため、中学校生活で 皆さんに ぜひ考えて欲しいこと 行動して欲しいことを 今から三つお話ししたいと思います

一つ目は 「自分を認めること」です

自分を認められる人は、自分の力を最大限発揮することが出来ます

自分を認められない人は、人の目を気にしたり、不安になったりして 自分の力を十分発揮することができません

自信をつけるのに最も効果があるのは、自分で自分を認めることです 誰かにほめてもらって自信をつけるのは自分で自分をほめることに比べ一〇分の一の効果しかないとされています 誰かに認められても 自分で自分を認められないと マイナスの心になってしまい、誰かに認められなくても 自分が自分を認めている人はプラスの心になります 自分を認め、自分に優しく、自分を大切にしてください

二つ目は 「チャレンジ」です

自ら考え、自ら行動すること、失敗を恐れず行動することがチャレンジです チャレンジして得られる知識はあなただけのものです チャレンジしない得られる知識はAIやロボットが人間を追い越していきます

新しいチャレンジをしないと必ず失敗します なぜかと言うとやったことがないからです

あたりまえです その失敗を恐れると、新しいチャレンジが何もできない人になってしまいます あなたが失敗して得た知識はあなたにしかありません それはAIやロボットに生み出すことはできません チャレンジし、失敗し、成長してください

三つ目は 「共感」です

小学生の時には、「やさしさ 思いやり」と言っていたかもしれませんが 「共感」は同情することではありません 相手の立場に立ち、自分との違いを考え、よりよい関係を作るため行動することが「共感」です

「共感」は、相手のことをわかればよい、のではなく、自分のことをわかってもらうことも大事です

例えば「自分が言われたり されていやなことは 絶対他人にしない 言わない」そして、もう一つ大事なことは、自分が何かをされていやだったときは、自分がいやな思いをしたことを、それをした人に教えてあげてください

この二つができれば、吉良川中学校は安心して過ごせる学校であり続けることができます

また、「共感」することで、関わる人を気持ちよくするにはどうしたらいいか考え、行動する人もいると思います

それができる人は、人に頼られ、自信を高めて幸せになれるでしょう

「自分を認める」「チャレンジ」「共感」三つのお話をしました

新入学生の保護者の皆様 これまで大切に育ててくれたお子さまを 三年間お預かりいたします 皆様のご期待に応える学校づくりを全職員で力を合わせて 全力で取り組んでまいります しかしながら 学校も全ての事に対して 何でも完全にはできません 保護者の皆様のご理解とお力添えがなければ 解決することが できない課題も 多々あるうかと思えます どうか 子どもたちの健やかな成長のために ご支援と ご協力を よろしくお願いいたします

それでは 新入学生の皆さんの大きな成長と吉良川中学校の 更なる飛躍を願います また本日ここに集まりの 全ての皆様のご多幸を祈念いたします 式辞といたします

令和六年 四月八日

室戸市立吉良川中学校長 小松 英也